

1 プログラムの名称

久留米大学内科研修プログラム

2 研修期間

3年

3 募集要項

内科専門医研修プログラムに準ずる。

4 診療部長・指導医数

診療部長:野村 政壽
腎臓内科指導医数 6人

5 主な連携施設

久留米大学内科連携施設
 (福岡県)大牟田市立病院、公立八女総合病院、
 社会保険田川病院、久留米総合病院、財団法人柳川病院、
 筑後市立病院、朝倉医師会病院、杉循環器科内科病院、
 田主丸中央病院、長田病院、古賀病院21、久留米大学医療センター
 (佐賀県)白石共立病院、(大分県)大分県済生会日田病院
 久留米大学内科特別連携施設
 ヨコクラ病院、川崎病院

6 プログラムの特色

- ・インスリン、グルカゴン、成長ホルモンなどの内分泌ホルモンの作用メカニズムを通して疾患をより深く理解し、適切な診断、病態に応じた治療を行う能力を修得することができる。
- ・内分泌代謝疾患はその病態が全身に及び、加齢との関連性も強く、その診療を通じて、内科の基本的診療に必要な知識・技能・態度を身に付けることができ、患者中心の全人的医療を展開する医師の育成につながる。
- ・糖尿病、高血圧、脂質異常症などの代謝性疾患の慢性合併症を理解し、その予防のための食事療法・運動療法・薬物治療・生活指導を行うことができる。
- ・人工膵臓を使用したグルコースクランプ、インスリンポンプに持続血糖測定機能が搭載されたsensor augmented pump (SAP)

療法を用いた血糖コントロールなど最先端の糖尿病治療について研修できる。また、急性代謝失調(ケトアシドーシス、高浸透圧高血糖症候群)、周術期、シックデイ、糖尿病合併妊娠などの治療について修得できる。

- ・内分泌疾患として市中病院で経験することが少ない視床下部・下垂体疾患、副腎疾患、甲状腺・副甲状腺疾患、性腺疾患、さらに多発性内分泌腫瘍、膵・消化管ホルモン産生腫瘍などの希少疾患についての専門的検査(内分泌負荷試験、RI検査等)、診断、治療について修得できる。
- ・一般内科医としてもよく遭遇する電解質異常などの診断、治療について修得できる。
- ・医局員の半数は女性であり、女性医師のキャリアアップを応援します。
- ・丁寧な日常診療から、常に医療人としての総合力の深化につながる探究心の育成に努め、積極的に基礎・臨床研究を行い、学会発表、論文発表を行うことを目指します。

7 診療部長から一言

糖尿病、高血圧、骨粗鬆症といった生活習慣病の急増や、超高齢化社会の到来により、今後ますます内分泌代謝領域のニーズが増すことが予想されます。幅広い知識が要求される分野だけに大変な反面、興味は尽きず、内科医としての醍醐味を十分に味わえる分野です。代謝性疾患から内分泌疾患まで幅広く、そして全人的診療に貢献できる研究マインドのある「人間味溢れる良医」を一緒に目指しましょう。

8 連絡先・担当者

久留米大学医学部内科学講座内分泌代謝内科部門
 TEL:0942-31-7563 FAX:0942-35-8943
 URL:<http://med.kurume-u.com/>
 E-mail:nahitomi@med.kurume-u.ac.jp
 担当:医局長 中山 ひとみ

9 研修プログラムのURL

日本内科学会
<http://www.naika.or.jp/>

